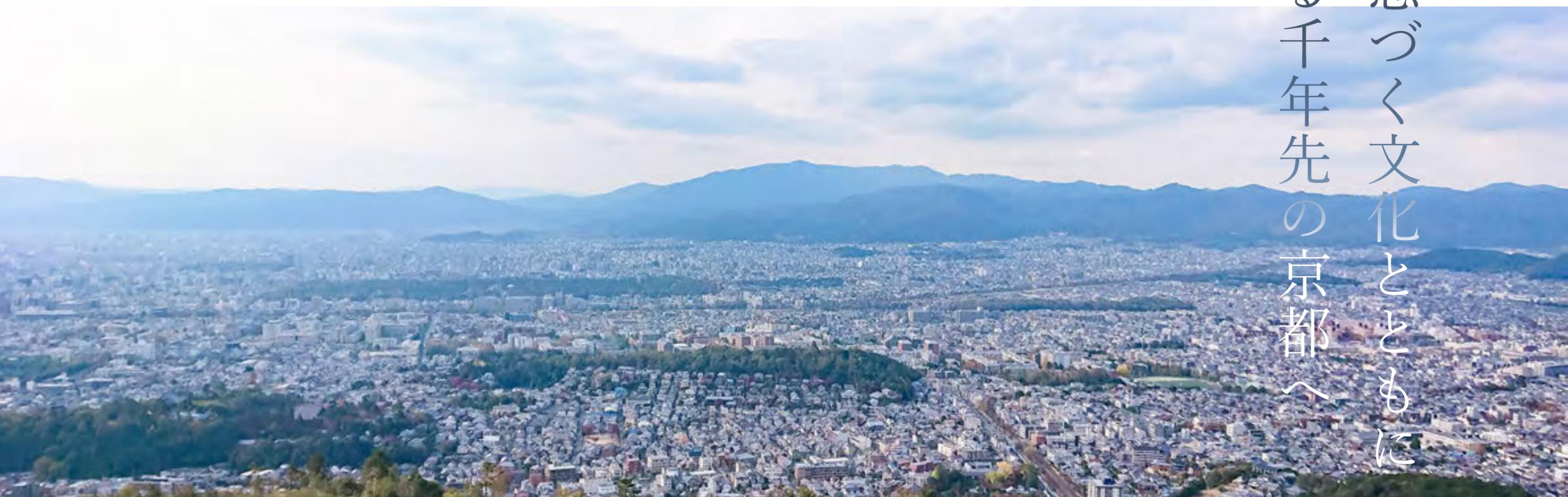


山紫水明に息づく文化とともに
彩りあふれる千年先の京都へ



山紫水明に息づく文化とともに 彩りあふれる千年先の京都へ

京都の暮らしはみどりと共にあります。

鴨川のほとりに立てば、千年の時を超えて、
変わらぬ山並みが目の前に広がります。

清らかな水のせせらぎ、静寂をまとう社寺のみどり、
安らぎを与えてくれる公園、そして四季折々にまちを彩る街路樹……
京都には先人たちが慈しみ、大切に育んできたみどりと
共に生きる文化が脈々と息づいています。

そして今、この素晴らしい京都の宝物は私たちの手に託されています。

「緑の基本計画」は、2010年の策定から15年という年月を経て、
次の時代に向けて生まれ変わります。変化の激しい時代だからこそ、
京都に息づく豊かなみどりを見つめ直し、様々な人々の手で、
未来へと大切に受け継いでいこうとするものです。

京都は、平穏と静寂のもとで自己と世界に深く向き合えるまちです。
みなさんも慌ただしい日々の中で、ふと立ち止まり、
みどりを五感で感じてみてください。
そしてこのかけがえのない豊かなみどりを
共に次の世代へと伝えていきましょう。

結びに、本計画の策定に御尽力をいただいた
「京都市都市緑化審議会」の委員をはじめ、
皆様に深く感謝を申し上げます。

2026年4月

京都市長 松井孝治

目次

—— みどりの魅力とは ——

はじめに

第1章 理念

第2章 みどりの魅力

山 丘 竹林 草地

林業地 農地

川 池 疏水

公園 街路樹 雨庭 校庭

庭園 坪庭 社寺林 名木

植物園 御苑 御所 離宮 陵墓

建物の緑化 敷地の緑化

第3章 みどりの展望

鳥瞰図 現況図 将来の姿

—— 未来に向けて ——

第4章 一人ひとりにできること

第5章 計画の概要

第6章 方針・施策の方向性

第7章 みどりの取組

あとがき

資料編

はじめに

Preface

本計画には、「京都に関わるすべてのみなさまと、京都の魅力的なみどりを共有して、協力しながら一緒に理念の実現に取り組んでいく計画にしたい」との思いを込めています。

計画全体を通じては、硬い行政用語や専門的な用語はできる限り使用せず、写真、図及び絵画を積極的かつ効果的に使用することで、より多くのみなさまに興味や理解、共感を持って読み進めていただけるような誌面を目指しました。

- 本計画は、都市緑地法に基づき策定する京都市の「緑の基本計画」です。
- 本計画では、漢字の「緑」ではなく、ひらがなの「みどり」を使用しています。この「みどり」という言葉には、物質的な「緑」に加えて、多様な価値（幸福感や癒し等）を込めています。
- 本計画のレイアウトや写真は、みどりへの眼差しをより力強く発信するため、市職員自ら手掛けたものです。
- 本文に下線を付けた箇所は、関連サイトへのリンクとなっています（デジタルブック形式に限ります）。より詳しい情報を知りたいとき、クリックしてみてください。

第1章

理念

Concept

京都が目指すみどりの姿
「京都ならではの」「みどりならではの」の
理念を掲げます

山^{さん}紫^し水^{すい}明^{めい}に息づく文化とともに
彩りあふれる千年先の京都へ



美しい山々と清らかな川に抱かれた都市、京都

みどり豊かな風景のなかで、
庭園文化に代表される独自の文化が生まれ、
人々の暮らしとともに幾世代にもわたり紡がれてきた
まちと暮らしを美しく彩るみどりを守り育て、
千年先の京都へと引き継いでいく

—— この思いを理念に込めて

第2章

みどりの魅力

The Attractiveness of Green

- 「自然のみどり」 — 山、丘、竹林、草地
- 「営みのみどり」 — 林業地、農地
- 「水辺のみどり」 — 川、池、疏水
- 「身近のみどり」 — 公園、街路樹、雨庭、校庭
- 「文化的なみどり」 — 庭園、坪庭、社寺林、名木
- 「特徴的なみどり」 — 植物園、御苑、御所、離宮、陵墓
- 「緑化のみどり」 — 建物の緑化、敷地の緑化

京都のまちや暮らしに息づく色々なみどり
その一つひとつの魅力を伝えます

山 Mountains



さんざん ひがしやま きたやま にしやま
京都盆地を囲む三山——東山、北山、西山

山並みの美しい眺めは、京都が誇る

山紫水明の風景であり、まちを包む壮大なみどり

歴史や文化に深く関わり、多くの生きもののすみかにもなる

冬空のもと東山から望む西山と市街地、青く美しい山並み（撮影／みどり政策推進室 2024年）

丘 Hills



京都を見つめる3つの丘

よしだやま ふなおかやま ならびがおか
——吉田山、船岡山、雙ヶ岡（双ヶ岡）

千年を超える歴史の中で人々に親しまれ、
先人たちが大切に守り続けてきたみどり

市街地にありながら太古からの風景を今に伝えている

東山から望む冬の吉田山、まちやくらしの風景に溶け込むみどり（撮影／みどり政策推進室 2025年）

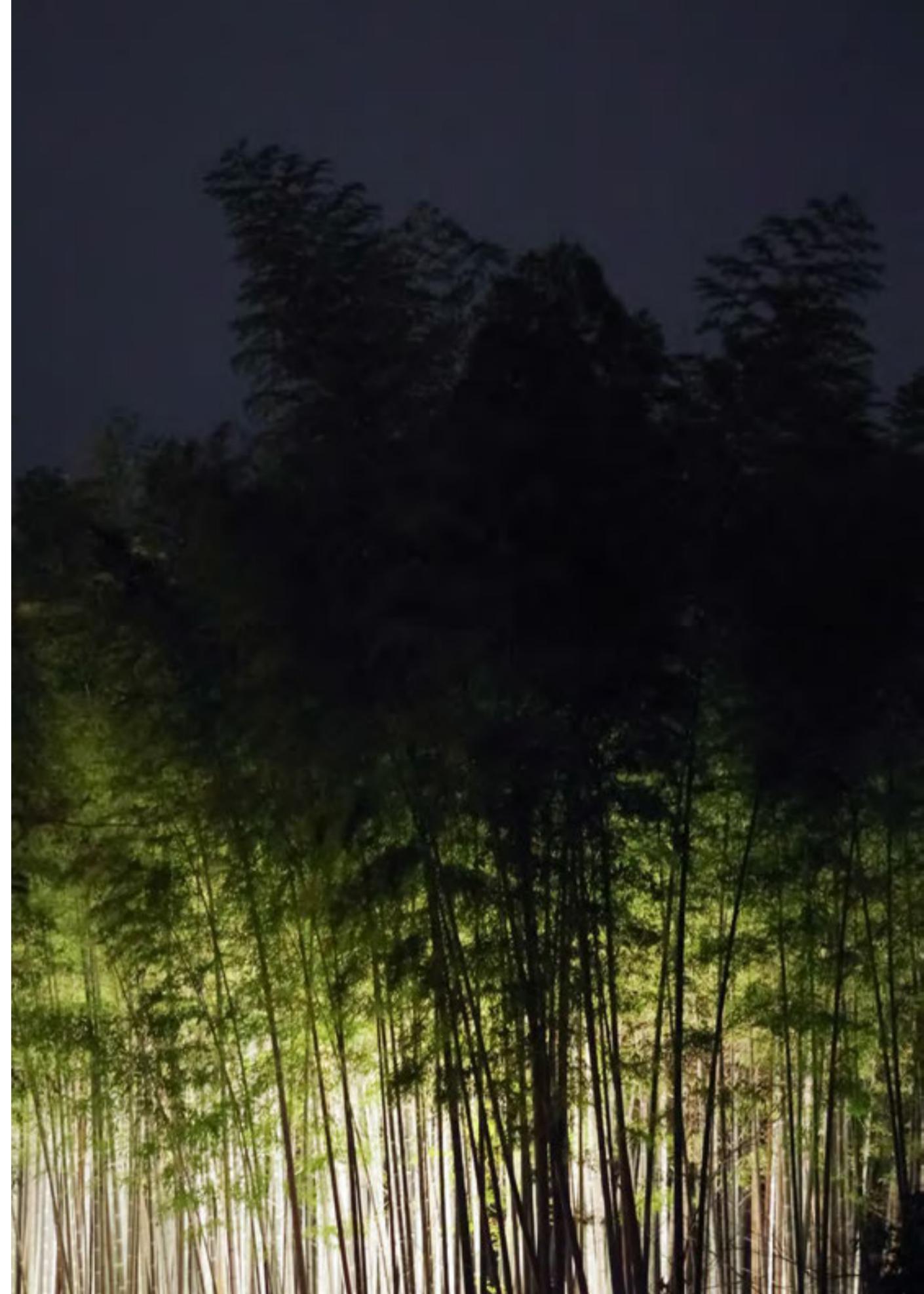
竹林

Bamboo Forests

京都を代表する風景の一つ——^{ちくりん}竹林

^{こみち}嵐山の竹林の小径や散策路、
^{きゅうりょうち}洛西や伏見の丘陵地に代表されるみどり

樹林とは違う、凛とした風景をもたらし、
国内外の人々を魅了する



冬の夜、ライトアップされた嵐山の竹林（撮影／みどり政策推進室 2021年）

草地

Grassland



草が生い茂る開けた場所——^{くさち}草地

^{かつらがわ うじがわ}
桂川や宇治川の河川敷、

^{はちょうだい}
八丁平の湿原、公園や庭園の芝生は、

いずれも京都に息づくかけがえのないみどり

風が通り抜け、鳥や虫にとっても大切な居場所となる

林業地

Timberland

林業が営まれる場所——りんぎょうち林業地

しぜんりん
自然林とは異なる、人の営みが生み出す

整然とした風景が広がるみどり

人の手により脈々と受け継がれてきた営みは、

歴史や文化をも支えている



農地

Farmland



きょうやさい
米や京野菜が生まれ、

農業体験や食育にもつながる場所——農地

市街地の南部や山すそを中心に広がるみどり

大地の恵みをもたらす農地は、どこか懐かしく、

都市の環境だけでなく、心と体の健康をつくる

川 Rivers



京都を代表する三川

かがわ
——鴨川、桂川、宇治川

山紫水明と讃えられる

京都独自の風情をつくり出すみどり

京都には多くの川が流れ、

くらしや文化、憩いや癒しとも

深く結びついている

池 Ponds

豊かな水をたたえる場所——池

みどろがいけ
深泥池のように太古から存在する自然の池

ちせん
庭園の池泉のように巧みに設えられた美しい池

たからがいけ
宝ヶ池のように人の営みの中で造られたため池

水が絶えず流れる川とは一味違った、
穏やかで静かな水辺の風景をもたらす



晴天の春の日、宝ヶ池の水辺から比叡山を望む（撮影／みどり政策推進室 2025年）

疏水

Canal

京都に恵みと潤いをもたらす流れ

びわこそすい
—琵琶湖疏水—

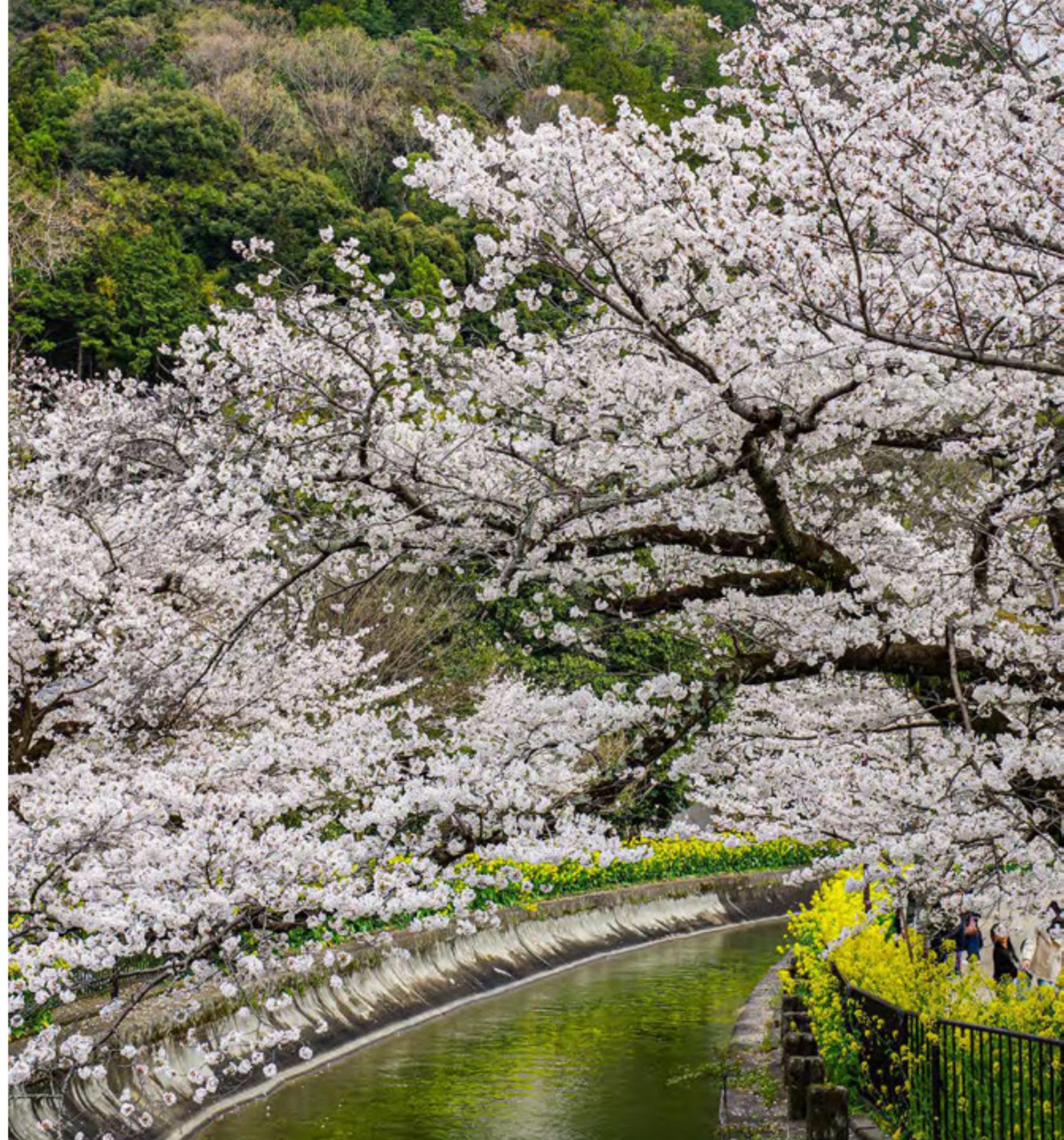
明治期に造営された、

美しい水辺の空間を生み出すみどり

むりんあん
琵琶湖疏水の水を引き入れる無鄰菴等の庭園や、

岡崎公園、東山自然緑地、哲学の道は、

文化やくらしとも深く関わる



公園

Parks

くらしに身近な緑地——公園

1,000箇所近くに及ぶ、色々な表情を持つみどり

広大な自然をたたえる宝が池公園、

歴史をまとめて佇む円山公園、

大勢の人々の賑わいの中の岡崎公園や梅小路公園、

そして日々のくらしに溶け込む近所の公園など

身近で多様な公園は、

子どもからお年寄りまでが遊び憩う、

人々の居場所となる



街路樹

Street Trees

道路沿いに植えられた並木——街路樹

京都では明治期末頃から植え始め、
今では84万本に及ぶ

何世代もの間、京都の人々の手で大切に守られ、
くらしとともに育まれてきたみどり

まちに木陰の癒しや歴史ある風格を生み出し、
美しい四季の移ろいがくらしを彩る



雨庭

Rain Gardens

あまみず
地上に降った雨水を一時的に貯留し、
ゆっくりと地中に浸み込ませる植栽空間——あめにわ雨庭

京都の雨庭は日本庭園風の独自のもので、
くらしに寄り添うみどり

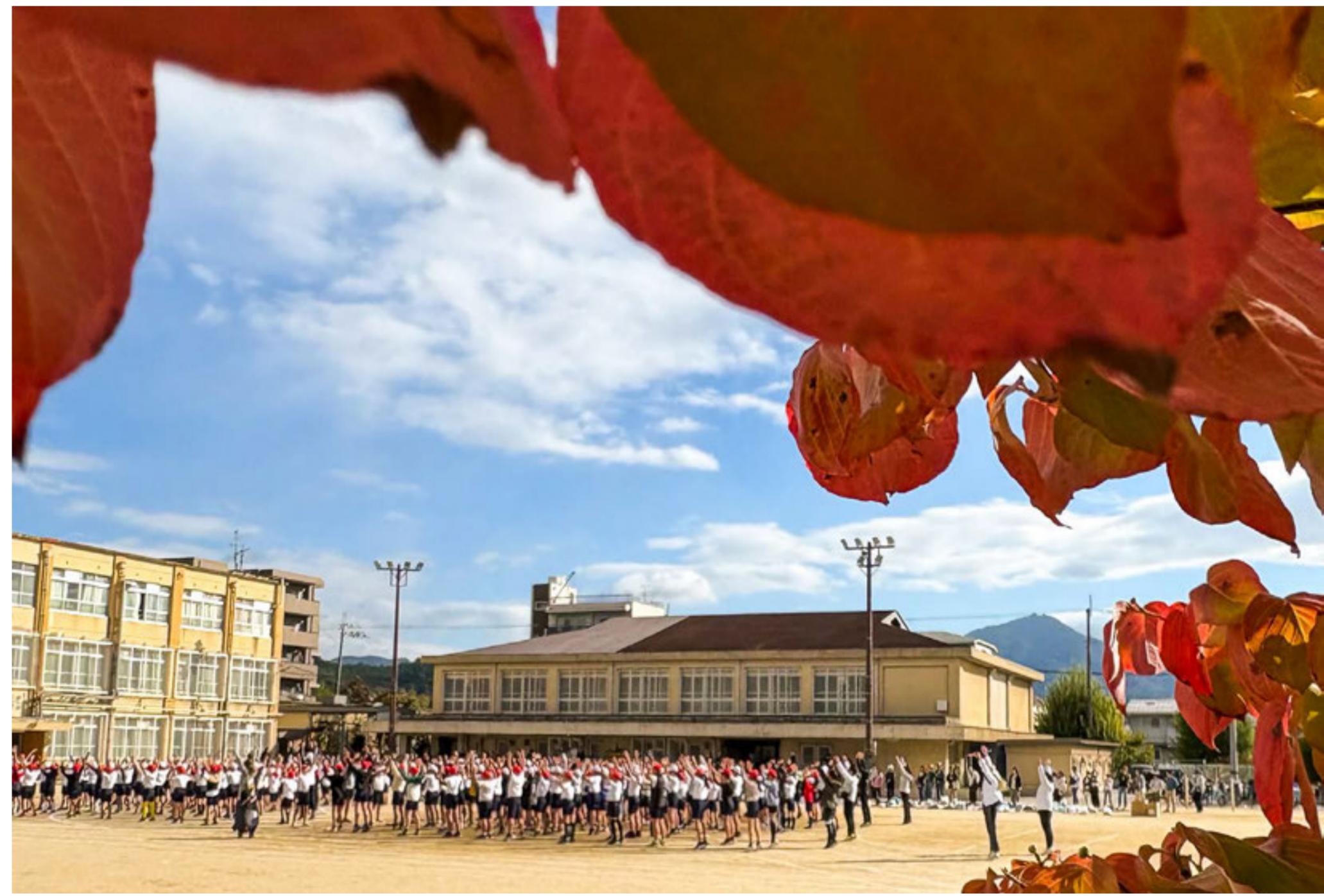
大雨時の防災に役立つ庭の美しいデザインには、
京都の庭園文化の技が光る



校庭

School Yards

園、学校、大学にある庭——校庭
児童生徒、学生達の学びや憩い、
時には地域の交流の場となるみどり
およそ250に及ぶ市立の学校園、
40を超える大学とともにある校庭は、
いつの時代も元気な声が響き、
未来の世代を育む



秋の日の校庭、ハナミズキの紅葉が揺れる（撮影／みどり政策推進室 2025年）

庭園

Gardens



自然と調和した魅力溢れる空間——庭園

国指定の特別名勝から個人邸の庭まで、

京都には世界屈指の庭園文化が花開く

国内外の人を魅了し続ける美しさは芸術の域に達する一方、

癒しのみどりとして暮らしに根付いている

坪庭

Tsubo-niwa Gardens

京町家や建物とともに設えられた

つぼにわ
小さな庭——坪庭

夏の暑さを和らげる工夫が込められた、

京都の市街地ならではのみどり

まえにわ なかにわ おくにわ
前庭、中庭、奥庭は、

限られた空間に四季の移ろいを取り入れ、

建物の内と外を緩やかにつなぐ



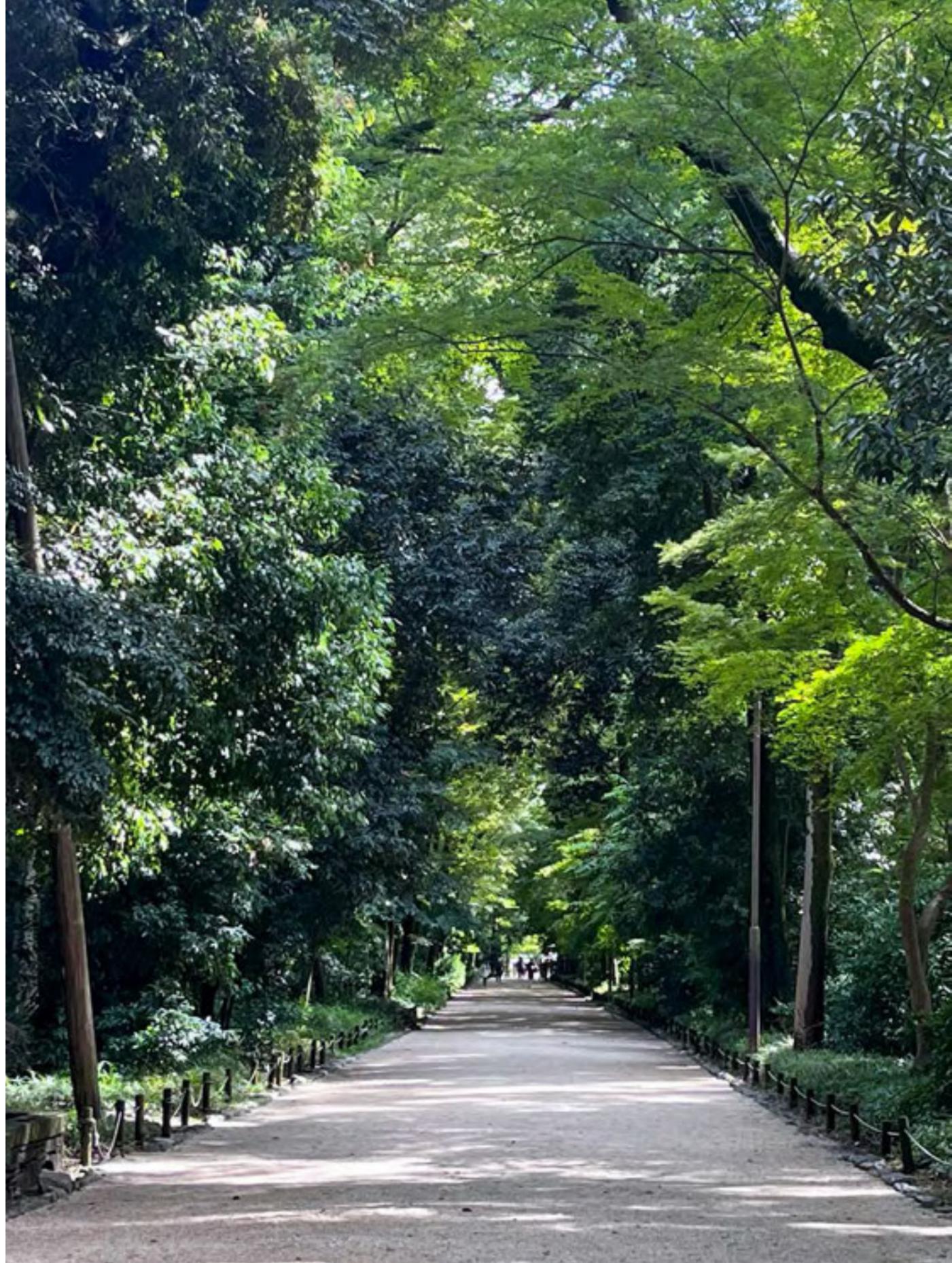
社寺林

Sacred Grove

参道や境内の木立、鎮守の森、
神域の森、社寺の一角をなす山——社寺林

千年を超える京都の歴史の中で、
山すそや市街地に残る深遠なみどり

祈りや信仰の場、そして癒しの場として
まちやくらしに根付いている



夏の雨上がり、木漏れ日差す糺の森（撮影／みどり政策推進室 2025年）

名木

Historical Trees



巨木、老木、歴史や由緒ある木——名木^{めいぼく}

京都には今も 1,000 本近くが残る

移り変わる時代の中にながら、

京都の人々に親しまれ守られてきたみどり

歴史ある京都ならではの名木の存在は、

空間に風格や深みをもたらす

円山公園の祇園枝垂桜、京都市「区民の誇りの木」に指定され京都を代表する名木（撮影／みどり政策推進室 2024年）

植物園

Botanical Gardens

多種多様な植物を守り育てる場所——植物園

京都には、行政、企業、大学など、多様な主体がそれぞれに育んできた植物園がある

なかでも京都府立植物園は、
100年にわたって花や樹木を
守り育てている代表的な植物園で、
色々な生きものにとって安らぎのみどり

学びと癒しをもたらす場所として、
多くの人に親しまれている



春の日、満開のサクラとチューリップを楽しむ人々、年間約80万人が来園する京都府立植物園（撮影／みどり政策推進室 2025年）

御苑

National Garden

市街地の中心エリアに広がる国民公園——きょうとぎょえん京都御苑

周囲4kmにも及ぶ広大で深甚なしんじんみどり

かつて公家などの屋敷が建ち並んでいた場所は、
明治以降、約10万本の樹木が茂る豊かなみどりへと姿を変えた

四季折々の表情を見せる京都御苑は、
人々の癒しと憩いの場でありながら、
多くの生きものを育む大切な場となる

※ 京都御苑内には、御所とは別に、国寶をもてなすための「京都迎賓館」があり、
ここには京都の庭園文化の粋を集めた美しい庭園がある



秋の夕暮れ、建礼門前大通りとマツの木立ち、散策する人々。(撮影/みどり政策推進室 2022年)

御所

Imperial Palaces

皇族の住まいや公務の場

きょうとごしよ せんとう
— 京都御所と 京都仙洞御所

日本の庭園文化の粋を凝らした
美しい空間は、京都が誇るみどり

京都のシンボルとも言える固有の存在は、
国内外の人を惹きつけてやまない



冬の京都御所、御池庭（写真提供／宮内庁）

離宮

Imperial Villas

江戸期に造営された皇族の別荘——^{りきゅう}離宮

建築と一体となった

美しい庭園を持つ桂離宮

山中に造られ、自然に溶け込んだ

景観が魅力の修学院離宮

京都の歴史や文化を象徴するみどりは、

訪れる人々を魅了する



陵墓

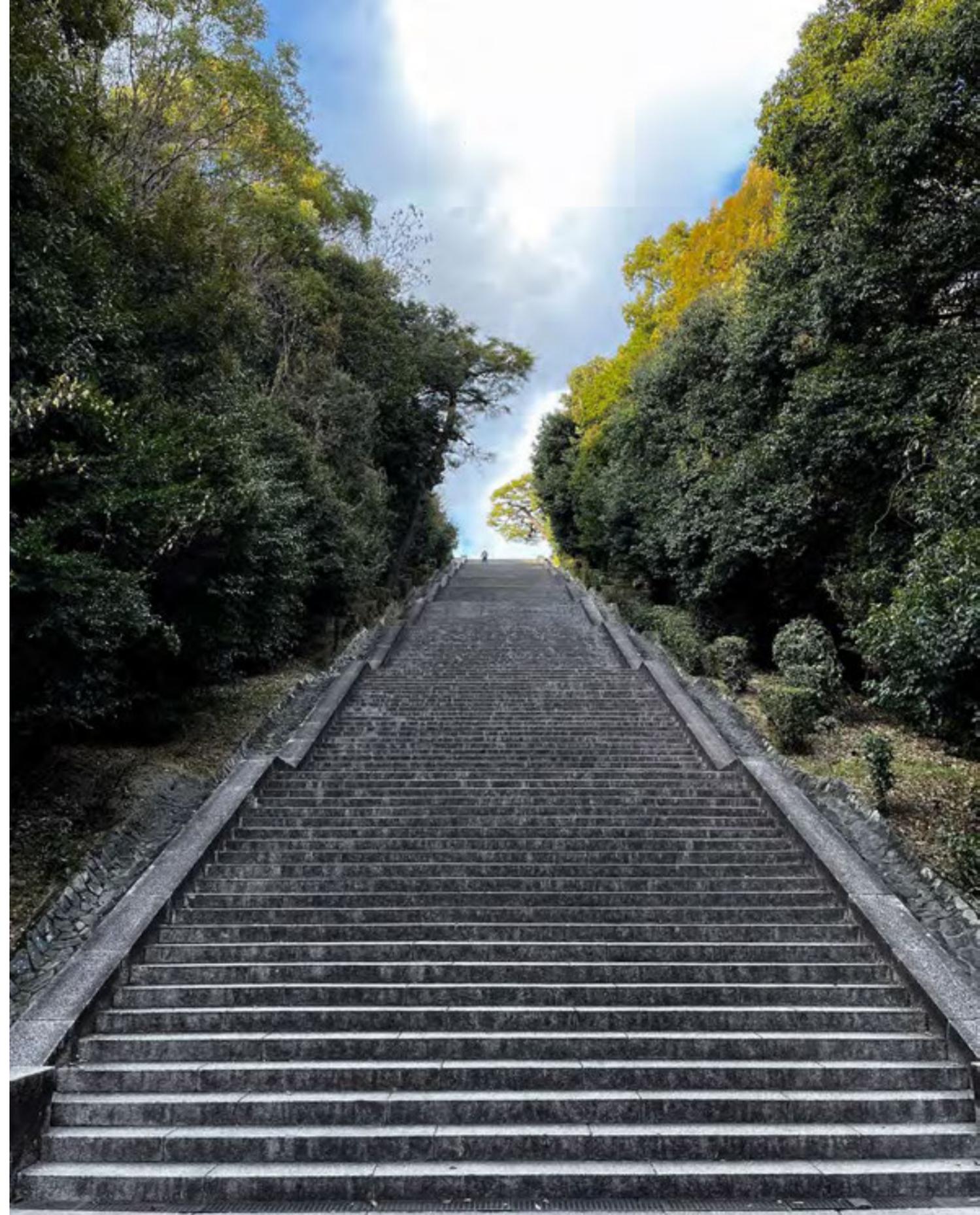
Imperial Mausoleums

天皇や皇族が葬られている場所——りょうぼ陵墓

悠久の歴史の中で築かれ、守られてきた豊かなみどり

京都に所在するてんのうりょう天皇陵だけでもふしみのもみやまのみささぎ伏見桃山陵をはじめ60を超える

数の多さは全国でも群を抜き、京都の歴史の深さを物語る



冬の日、伏見桃山陵へと続く大階段と豊かなみどり（撮影／みどり政策推進室 2025年）

建物の緑化

Greening of Buildings

建物と一体化した緑化——建物の緑化

壁面緑化と屋上緑化に代表され、
空間に限りのある中心市街地に
みどりを生み出す有効な手立て

現代的なスタイルのみどりとして、
商業施設、公共施設、住宅など、
随所に取り入れられている



ヨドバシカメラマルチメディア京都の北側壁面、市内随一の大規模な壁面緑化（撮影／みどり政策推進室 2021年）

敷地の緑化

Greening on the Premises

所有する敷地の一部を芝生や木立、庭園、
森として活かす緑化——敷地の緑化

企業の事業地や工場、公共施設、住まいなどの
一角に設えられたみどり

生み出された貴重なみどりは、
まちの美しい風情の一部となっている



NISSHA 株式会社本社の敷地内緑化、美しい芝生が四条通に面して広がる（撮影／みどり政策推進室 2025年）

第3章

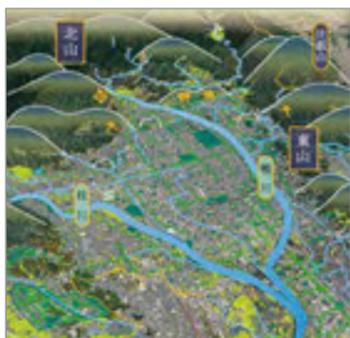
Prospects

みどりの展望

魅力あるみどりが
いかに広がりつながっているのか
そこから見据えるみどりの展望を伝えます

I 鳥瞰図

Aerial Views



全2パターン

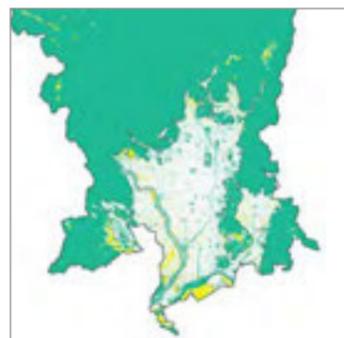
空中写真をもとに、
京都の主なみどりを描いた図

山紫水明と讃えられる
京都のみどり全体の骨格や
豊かさを立体的に示している

ちょうかんず
※ 鳥瞰図：鳥の目線で空から見下ろした図

II 現況図

City Analyses



全4パターン

どのようなみどりが
どれくらいあるのかを描いた図

京都のみどりが、
まちやくらしをいかに良くしているか、
いかに大切なのかを示している

III 将来の姿

Future Images

全16パターン

「このまま続いてほしい」
「こんな未来になってほしい」
そんなみどりの在り方を描いた絵画

京都のみどりの展望の、
具体的なイメージを示している

I 鳥瞰図

Aerial Views

1 広域

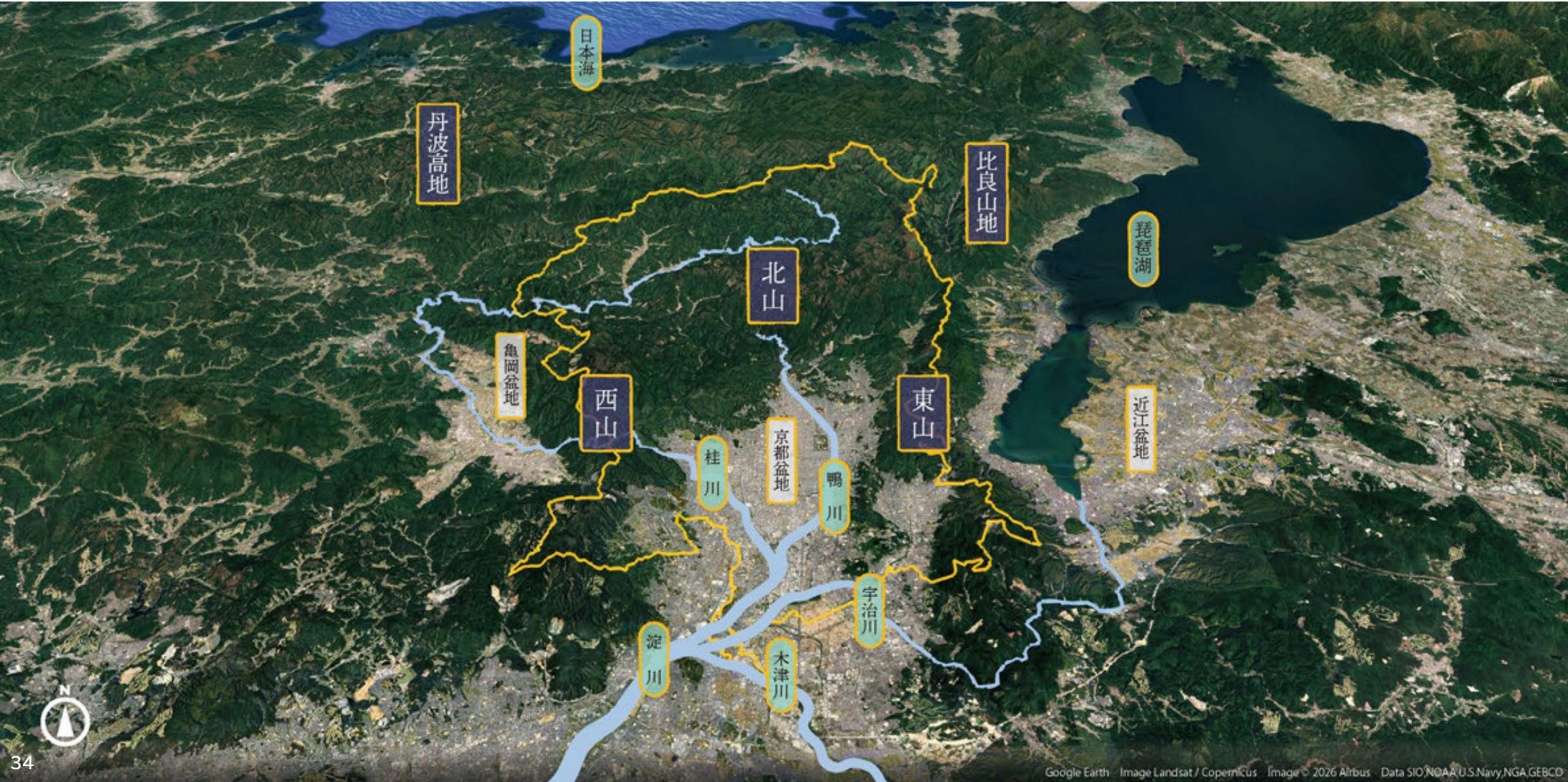
京都は、どのようなみどりに抱かれているのか

東山・北山・西山の美しい山並みと、鴨川・桂川・宇治川の清らかな水の流れ

雄大な山と川のみどりが京都を成立させ、山紫水明の風情を支えている

※ データの出典はp102を参照

【凡例】 — : 京都市域 — : 川



I 鳥瞰図

Aerial Views

2 市街地

京都の市街地のみどりを包むのは、京都ならではの盆地の地形

三山、三川に色々なみどりが加わり、豊かなみどりのつながりを織り成す

自然のみどり、営みのみどり、水辺のみどり、身近なみどり、文化的なみどりなど個性あふれるみどりが至る所に広がる

※データの出典はp102を参照

【凡例】  : 山  : 社寺・公園など  : 街路樹  : 農地  : 川



II 現況図

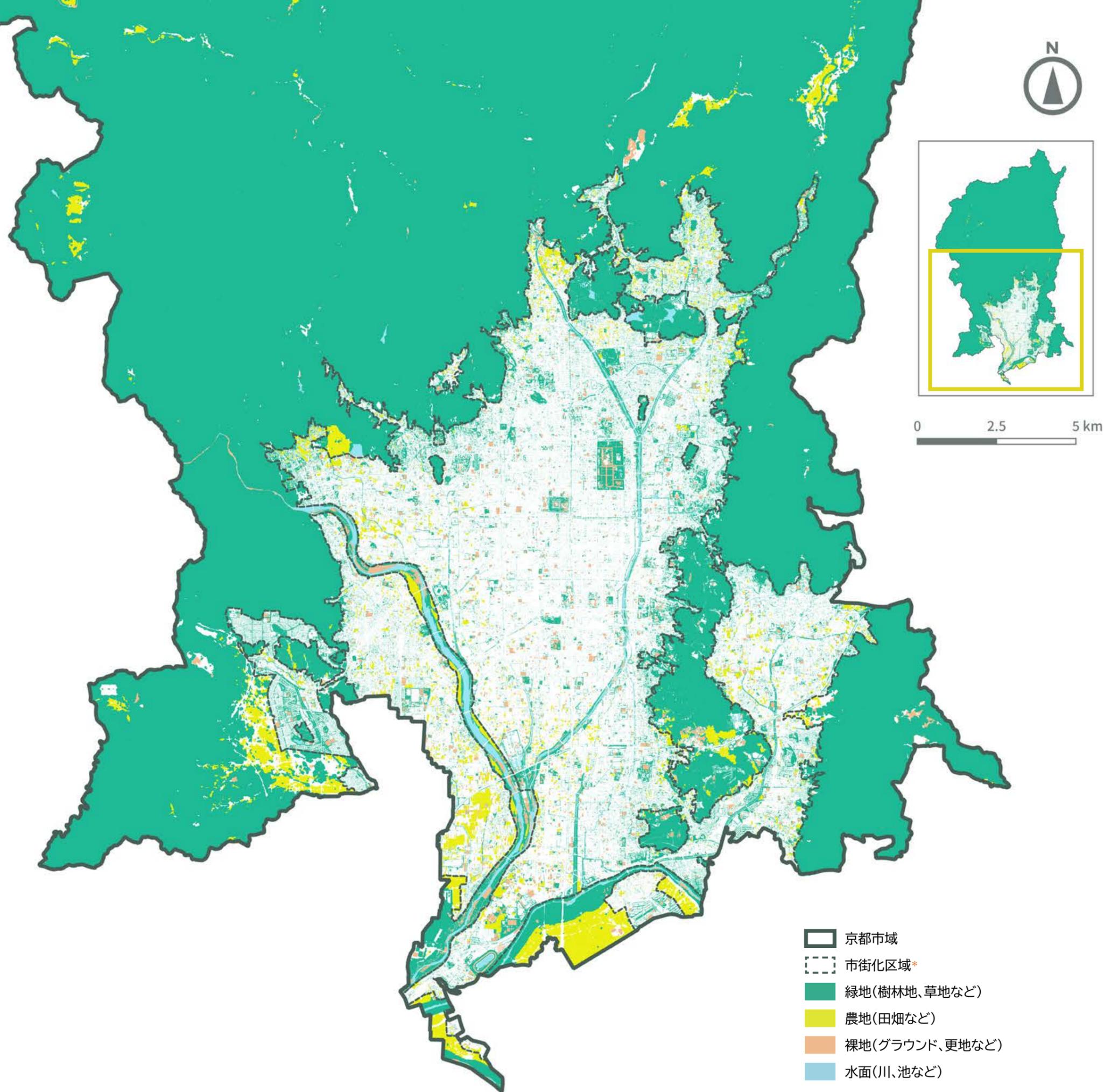
City Analyses

1 持続可能なまち

持続可能なまちを支えるみどり

都市の自然的な基盤や生きもののすみかとなるほか、CO₂の吸収や
大気・水質の改善の助けとなる

大小色々なみどりが、
山間部や山すそはもちろん、
市街地全体にも広がっている



- 京都市域
- 市街化区域*
- 緑地(樹林地、草地など)
- 農地(田畑など)
- 裸地(グラウンド、更地など)
- 水面(川、池など)

* 詳細はp101「用語解説」を参照 ※ データの出典はp102を参照

II 現況図

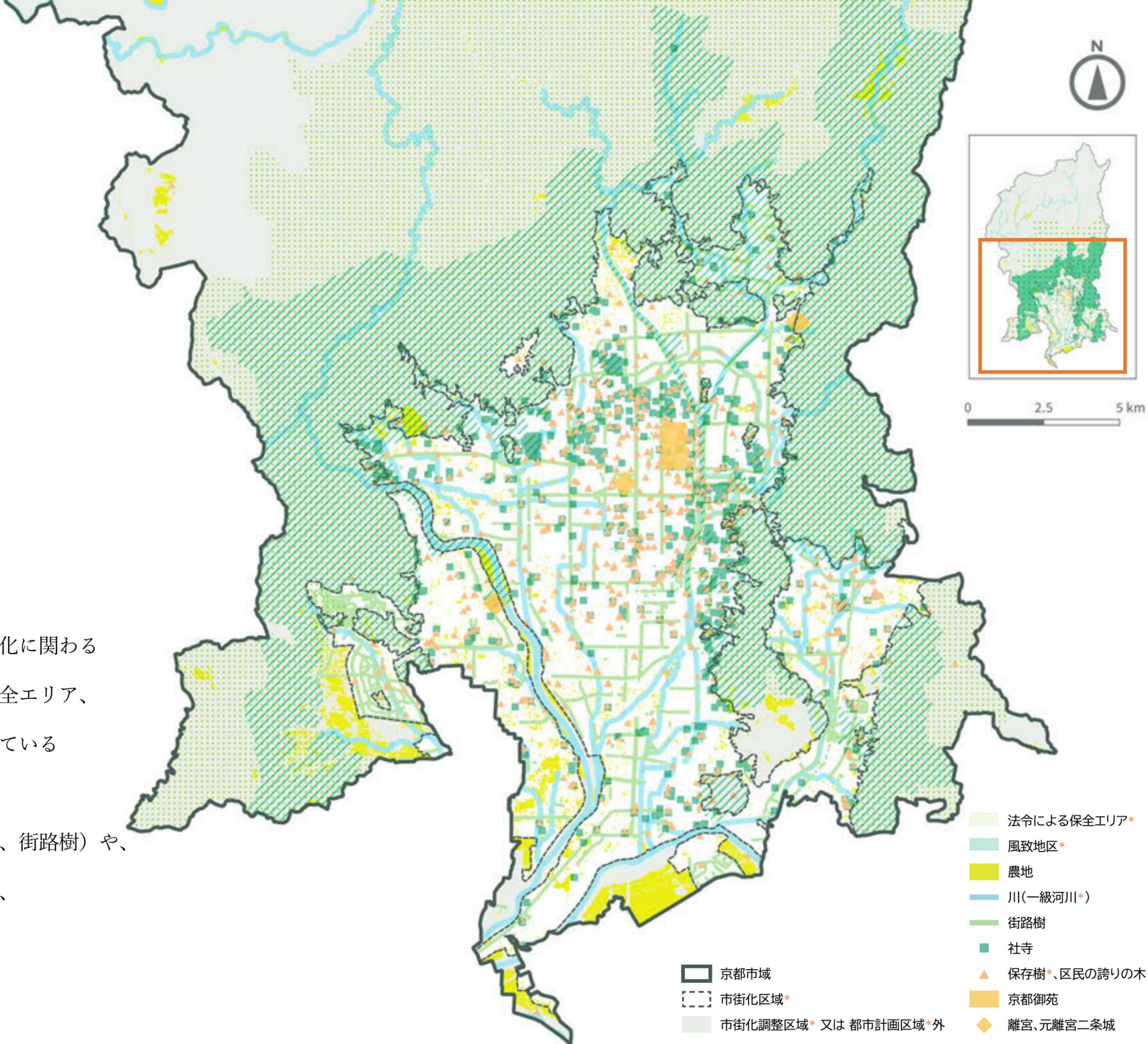
City Analyses

2 豊かなくらし

文化に溢れた豊かなくらしに
つながるみどり

山すそでは、京都の風土や文化に関わる
面的なみどり（法令による保全エリア、
風致地区、農地）が保全されている

市街地では線的なみどり（川、街路樹）や、
点的なみどり（社寺、保存樹、
区民の誇りの木など）が
市街地全体に点在している



- 法令による保全エリア*
- 風致地区*
- 農地
- 川(一級河川*)
- 街路樹
- 社寺
- 保存樹*、区民の誇りの木*
- 京都御苑
- 離宮、元離宮二条城
- 京都市域
- 市街化区域*
- 市街化調整区域* 又は 都市計画区域*外

* 詳細はp101「用語解説」を参照 ※ データの出典はp102を参照

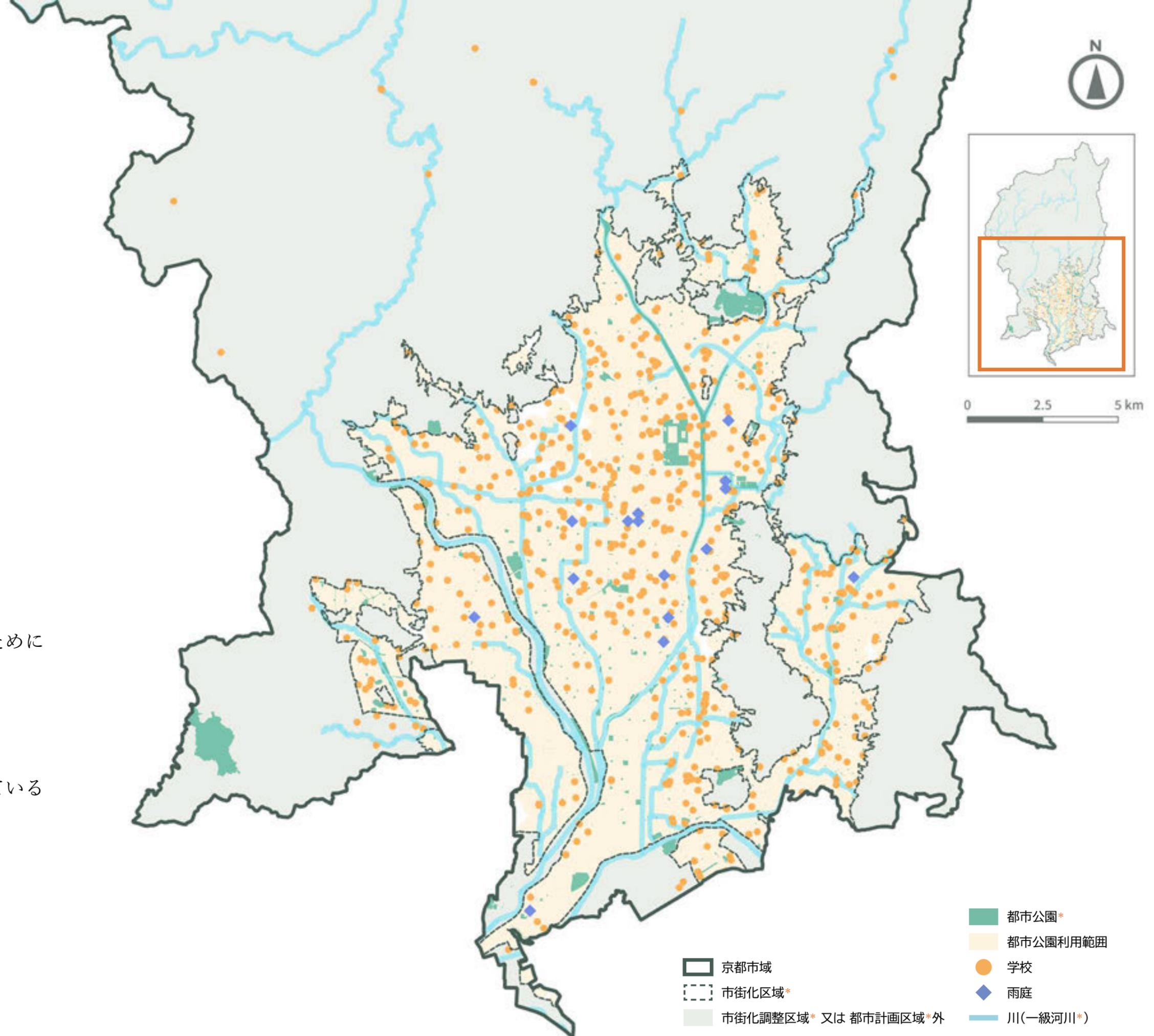
II 現況図

City Analyses

3 安心なくらし

安心で元気なくらしに
つながるみどり

地域活動や災害時の避難のために
重要な公園や学校のほか、
大雨の時の防災に貢献する
雨庭が市街地全体に広がっている



II 現況図

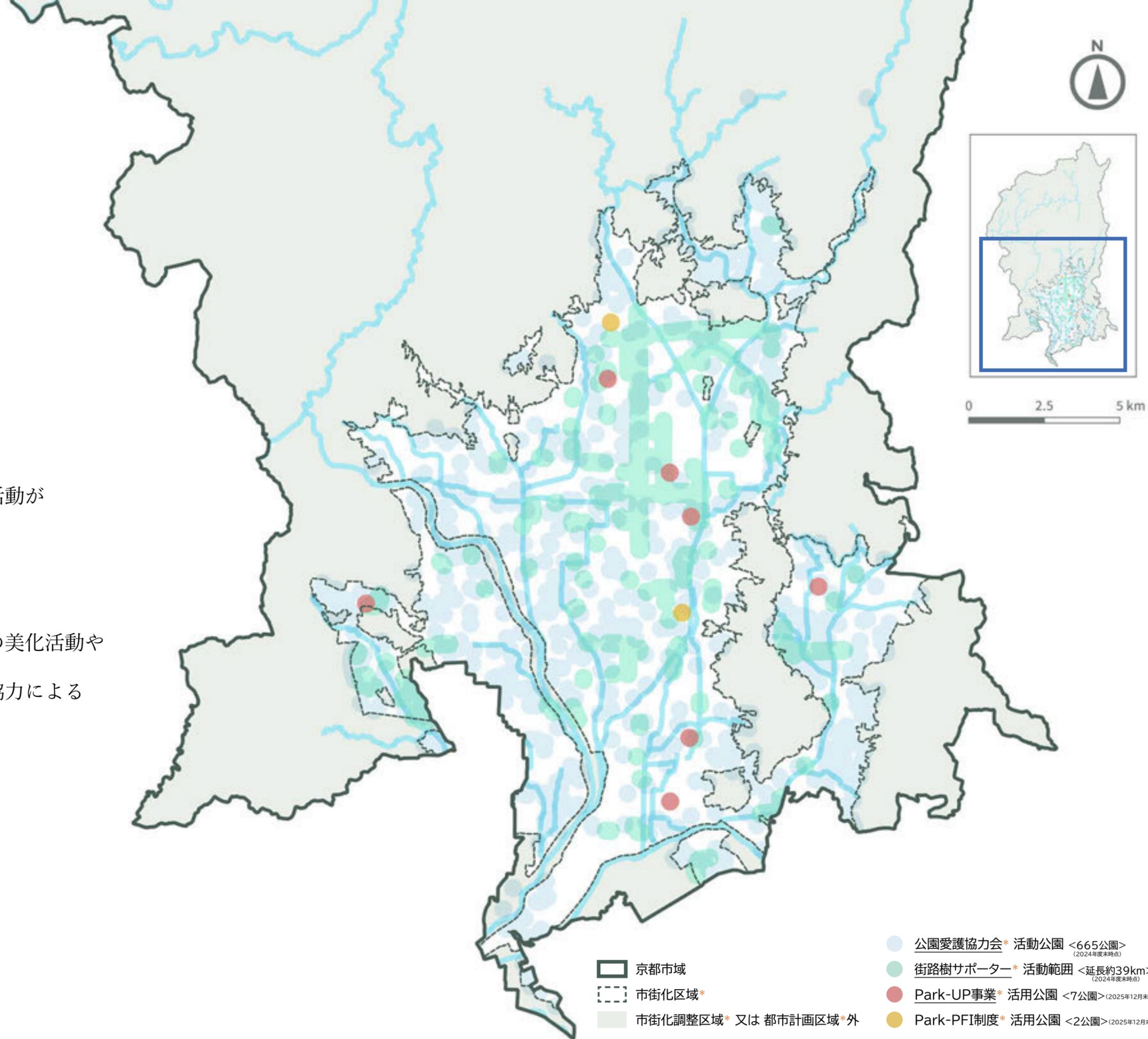
City Analyses

4 みどりとひとの輪

みどりの質をより良くする活動が行われている場所

公園や街路樹、山、川などの美化活動や地域にくらす人々や企業の協力による公園の利活用など

みどりとひとの輪が市街地全体に広がっている



- 公園愛護協会* 活動公園 <665公園> (2024年度末時点)
- 街路樹サポーター* 活動範囲 <延長約39km> (2024年度末時点)
- Park-UP事業* 活用公園 <7公園> (2025年12月末時点)
- Park-PFI制度* 活用公園 <2公園> (2025年12月末時点)
- 京都市域
- 市街化区域*
- 市街化調整区域* 又は 都市計画区域*外

* 詳細はp101「用語解説」を参照 ※ データの出典はp102を参照

III 将来の姿

Future Images

16 テーマの将来の姿は、
京都ゆかり（京都市立芸術大学出身）の
7名の作家とのコラボレーションによる作品

京都で学んだ芸術家の眼差しも加わった、
親しみと魅力のあるみどりの将来の姿



1 山紫水明の豊かなみどり

2 大気と水をきれいに保つみどり

3 CO₂の吸収源となるみどり

4 色々な生きもののすみかとなるみどり

5 暮らしの中の文化薫るみどり

6 心に残る美しい風情を生み出すみどり

7 人を惹きつける魅力的なみどり

8 人の営みによる美しいみどり

9 安心・安全な暮らしを支えるみどり

10 まちの暑さを和らげる涼しげなみどり

11 癒しや憩いの場となるみどり

12 居場所や交流の場となるみどり

13 遊びやスポーツの場となるみどり

14 育みや学びの場となるみどり

15 色々な人の協力により守り育まれたみどり

16 京都が誇る造園力で美しく設えられたみどり

北川 咲 | KITAGAWA Saki

2021年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（日本画）修了

合田 徹郎 | GODA Tetsuro

2014年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（日本画）修了

森 夕香 | MORI Yuka

2016年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（日本画）修了

濱口 佳代 | HAMAGUCHI Kayo

2025年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 美術専攻（日本画）修了

富田 マリー | TOMITA Mary

2014年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（油画）修了

吾郷 佳奈 | AGO Kana

2018年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（油画）修了

高木 智子 | TAKAGI Tomoko

2015年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 絵画専攻（油画）修了

Ⅲ 将来の姿

Future Images



北川 咲 KITAGAWA Saki 2025年 紙本着色

1 山紫水明の豊かなみどり

山、川などのみどりが美しく守られている

京都らしい山紫水明の風情をまちにもたらし、人々が日々の中でそのみどりや風情を愛でている

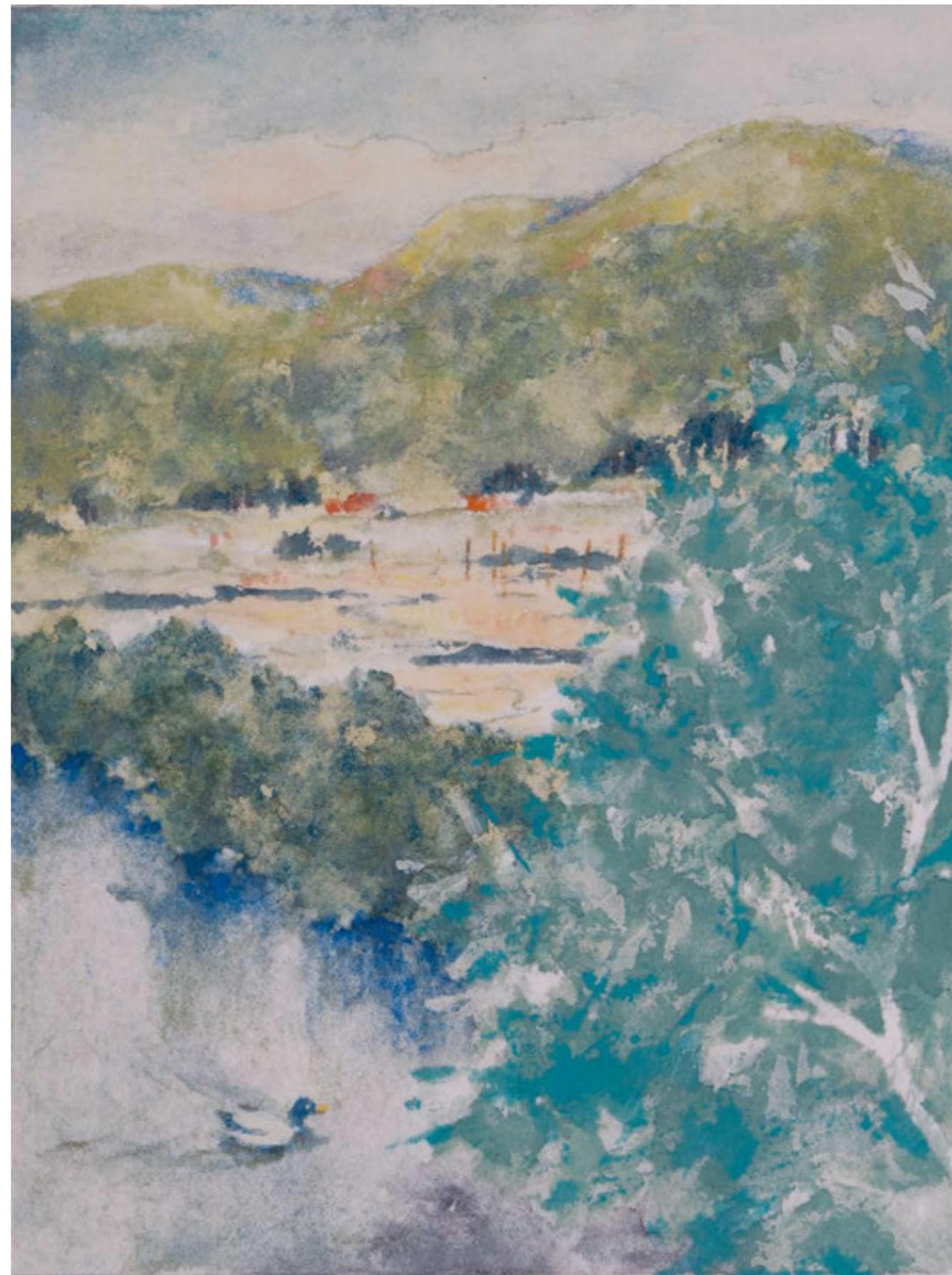
Ⅲ 将来の姿

Future Images

2 大気や水をきれいに保つみどり

山、川、農地などのみどりが、大気や水をきれいに保っている

京都に快適な環境をもたらし、人々がその中で日々の暮らしを紡いでいる



北川 咲 KITAGAWA Saki 2025年 紙本着色

Ⅲ 将来の姿

Future Images



合田 徹郎 GODA Tetsuro 2025年 絹本着色

3 CO₂の吸収源となるみどり

林業地、山などのみどりが、気候変動問題の原因となるCO₂を吸収・固定している
持続可能なまちの実現に貢献し、人々がみどりの大切な役割を理解している

Ⅲ 将来の姿

Future Images



合田 徹郎 GODA Tetsuro 2025年 絹本着色

4 色々な生きもののすみかとなるみどり

樹林、水辺、草地などのみどりが、あらゆる生きもののすみかや通り道になっている
いのちや生態系が守り育まれ、人々がそれらとのふれあいを楽しんでいる

Ⅲ 将来の姿

Future Images



合田 徹郎 GODA Tetsuro 2025年 絹本着色

5 くらしの中の文化薫るみどり

庭園、社寺林など文化薫るみどりが、まちの至る所に根付いている

京都の歴史や文化を今に物語り、人々がそれらを日々のくらしの中で身近に感じ大切にしている

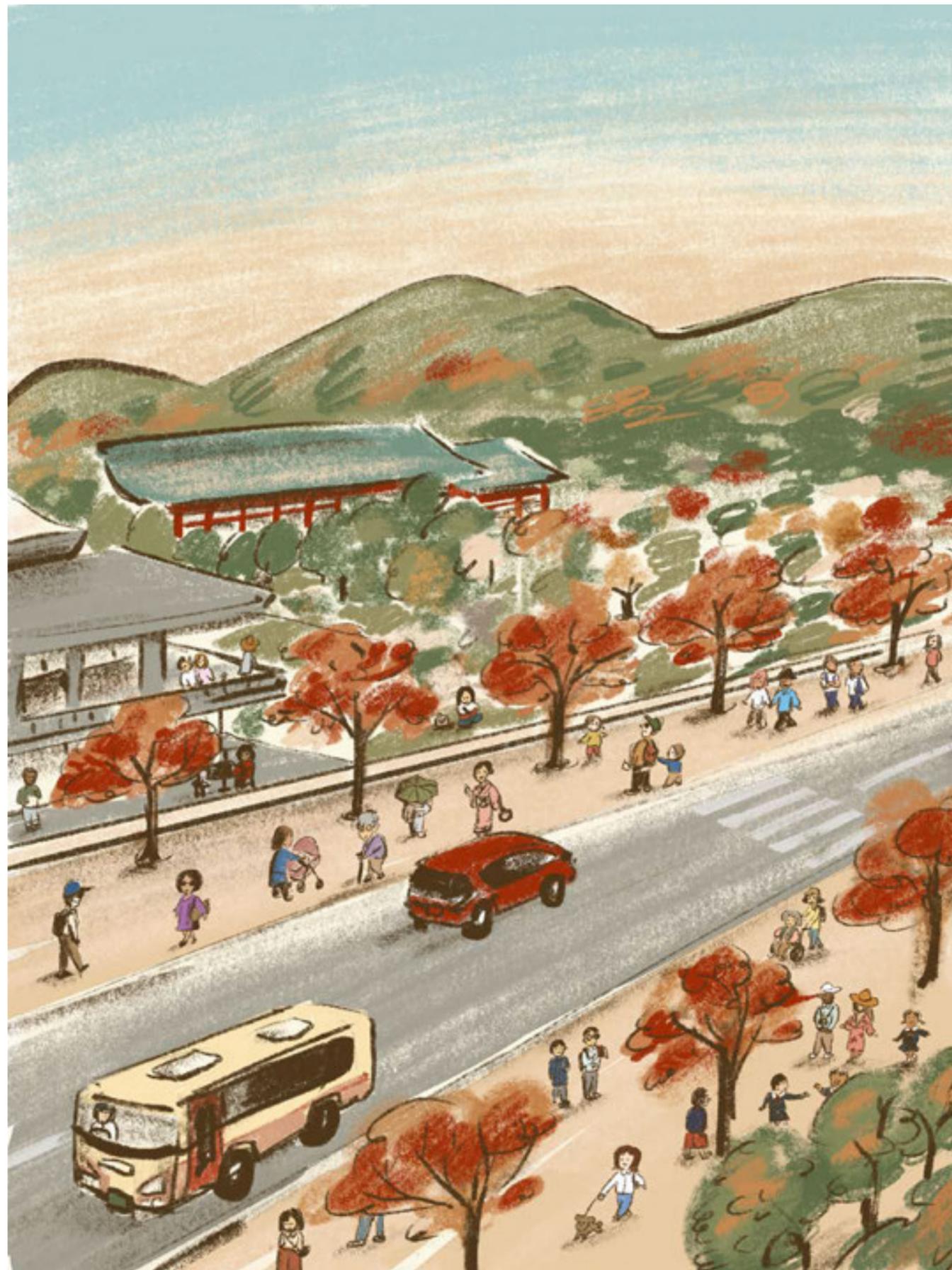
Ⅲ 将来の姿

Future Images

6 心に残る美しい風情を生み出すみどり

山の借景、水辺、街路樹などの美しいみどりが京都を彩っている

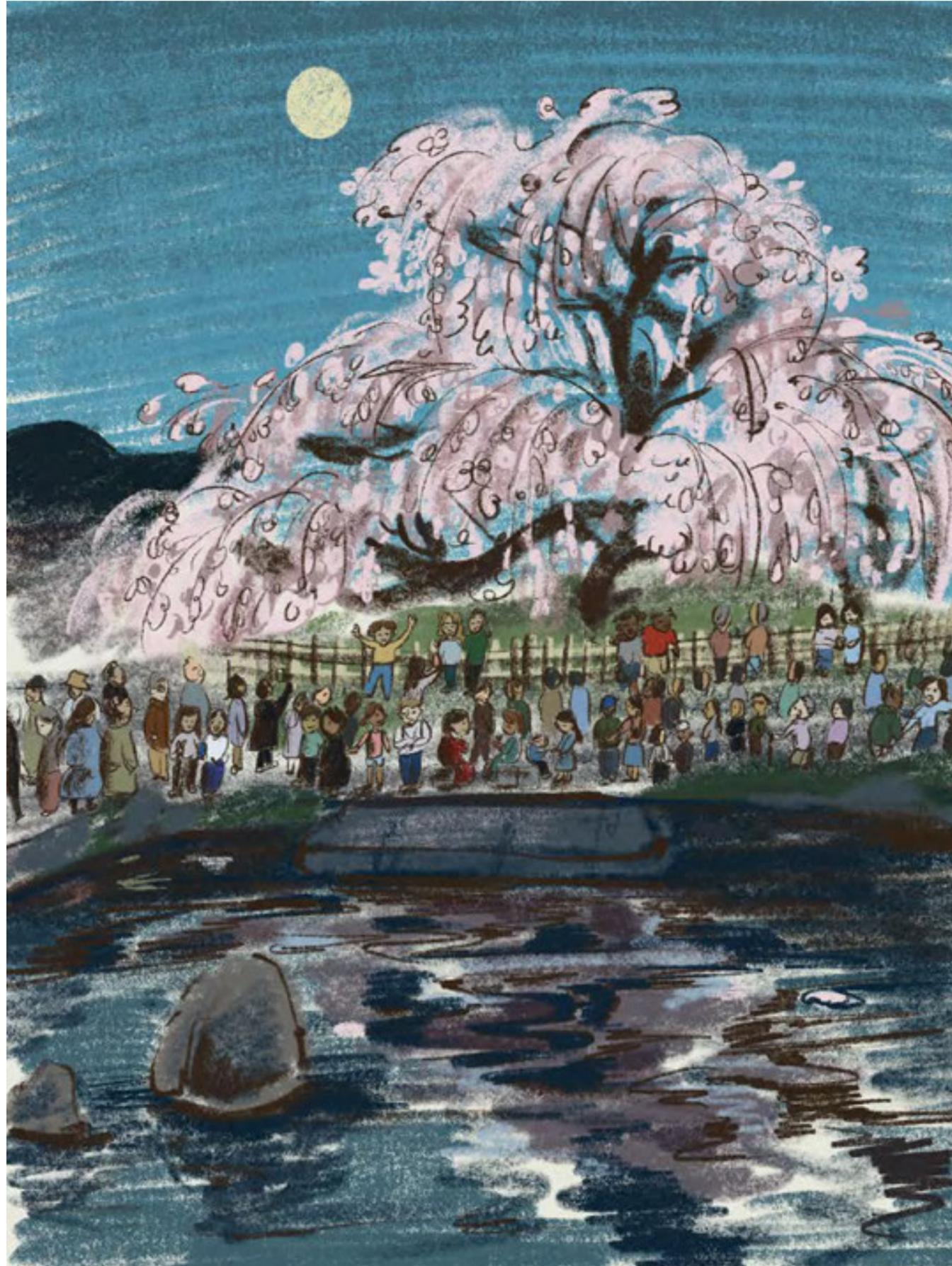
国内外を魅了する京都らしい景観や風情を生み、人々の心にその美しさが刻まれている



森 夕香 MORI Yuka 2025年 デジタルイラスト

Ⅲ 将来の姿

Future Images



森 夕香 MORI Yuka 2025年 デジタルイラスト

7 人を惹きつける魅力的なみどり

庭園、名木、水辺などの魅力的なみどりが、人々を惹きつけている
京都に活力をもたらし、人々がみどりの魅力や多彩な交流を楽しんでいる

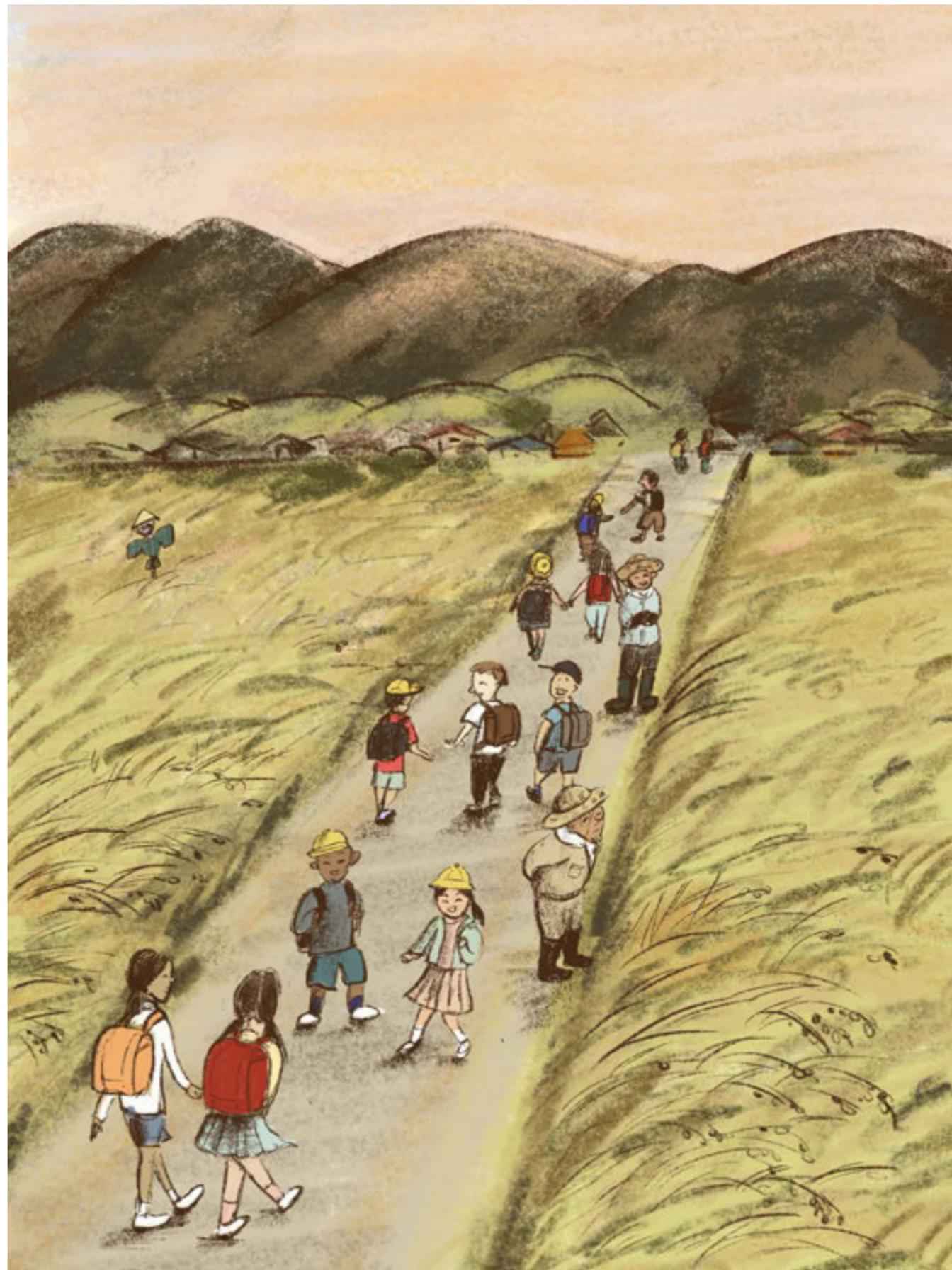
Ⅲ 将来の姿

Future Images

8 人の営みによる美しいみどり

農地、林業地などの人の営みによるみどりが、美しく受け継がれている

京都の原風景をまちに息づかせ、人々が日々の暮らしの一部として愛着を持っている



森 夕香 MORI Yuka 2025年 デジタルイラスト

Ⅲ 将来の姿

Future Images



濱口 佳代 HAMAGUCHI Kayo 2025年 デジタルイラスト

9 安心安全なくらしを支えるみどり

歩道に設けられた植栽空間である雨庭、公園などのみどりが、災害や豪雨から京都を守っている
充実した防災・減災対策のもと、人々が安心安全なくらしを送っている

Ⅲ 将来の姿

Future Images



濱口 佳代 HAMAGUCHI Kayo 2025年 デジタルイラスト

10 まちの暑さを和らげる涼しげなみどり

街路樹などのみどりがいくつもの緑陰を生み、京都の夏の暑さを和らげている
まちに安らぎと潤いを与え、人々が心地よい空間の中で日々を過ごしている

Ⅲ 将来の姿

Future Images



富田 マリー TOMITA Mary 2025年 デジタルイラスト

11 癒しや憩いの場となるみどり

緑道、公園、水辺などのみどりが、平穏な空間を生んでいる
癒しや憩いの時間を京都にもたらし、
人々が散歩や散策など思い思いにくつろいでいる

Ⅲ 将来の姿

Future Images

12 居場所や交流の場となるみどり

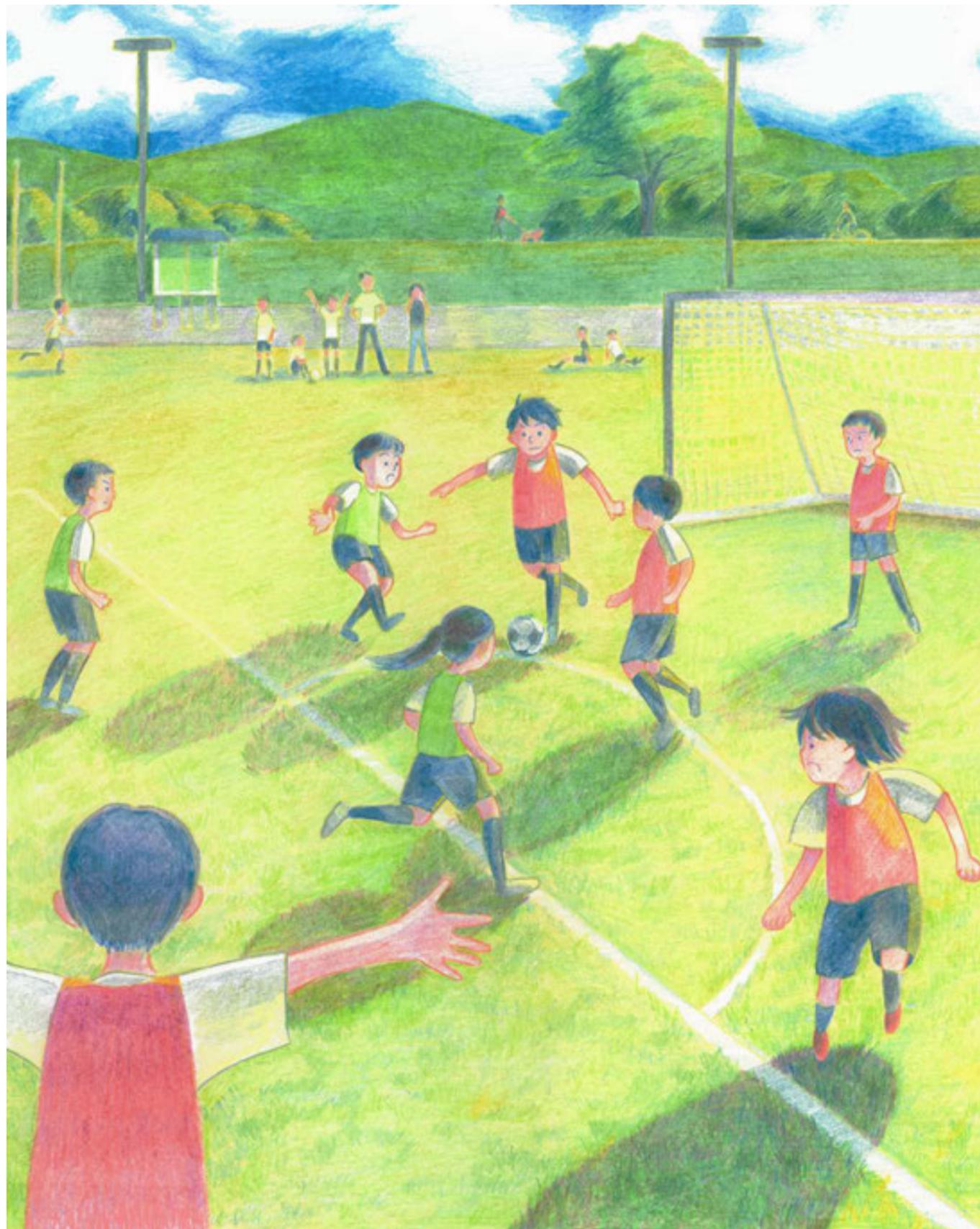
身近な公園などのみどりが、地域での交流の場や日々の居場所となっている
京都や地域の絆を育み、人々が談笑やイベントを楽しんでいる



富田 マリー TOMITA Mary 2025年 デジタルイラスト

Ⅲ 将来の姿

Future Images



13 遊びやスポーツの場となるみどり

運動公園などのみどりが、楽しく体を動かす場となっている

京都や地域が元気になり、人々が心身ともに健やかに暮らしている

吾郷 佳奈 AGO Kana 2025年 紙に色鉛筆

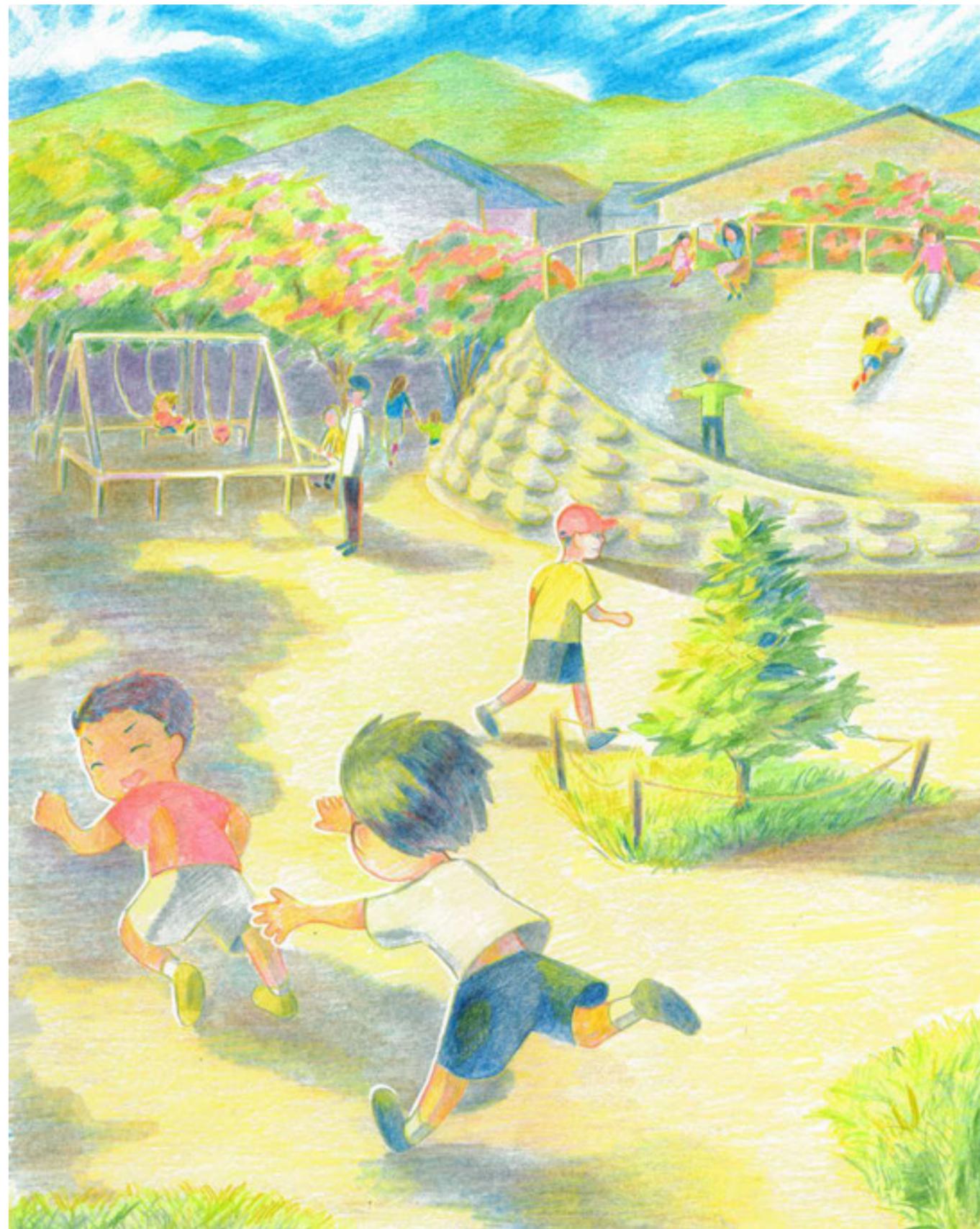
Ⅲ 将来の姿

Future Images

14 育みや学びの場となるみどり

身近な公園などのみどりが、子育ての場や学びの場になっている

京都での育みや学びが充実し、子どもからお年寄りまでの人々が元気に過ごしている



吾郷 佳奈 AGO Kana 2025年 紙に色鉛筆

Ⅲ 将来の姿

Future Images



高木 智子 TAKAGI Tomoko 2025年 紙 / 水彩

15 色々な人の協力により守り育まれたみどり

緑道、公園、街路樹などのみどりが、京都に暮らす・集う人々の協力のもと、大切に守り育てられている
みどりを通じたひとの輪が京都に広がり、
人々が質の高いみどりに囲まれて暮らしている

Ⅲ 将来の姿

Future Images

16 京都が誇る造園力で美しく設えられたみどり

庭園、坪庭、街路樹などのみどりが、造園の技術のもと、美しく設えられている
世界中の人々を惹きつける庭園文化が京都に脈々と受け継がれている



高木 智子 TAKAGI Tomoko 2025年 紙 / 水彩